

◇◆会長挨拶◆◇

本年より会長を務めさせていただくことになりました横浜国大の中井里史です。二年間どうぞよろしくお願いたします。

室内環境研究が係わってくる研究領域は多岐にわたっていることはいまでもありません。研究室での議論にとどまるだけではなく、実生活の中でどのように役立てていけばよいのか、単に個々の知識の適用だけではなく、複合的システムとも言える室内環境に多面的な角度から役立てていくことが重要です。どこか一面だけの検討では、重大な問題を生じかねないのが室内環境の領域であると私自身は認識しております。そのため、学会員、特に研究者の皆様には、それぞれの専門分野での研究を深めていただくことはもちろんのこととして、普段の研究に中では接することが無い他分野の方々との連携を深め、総合的に日常生活の中で役立ててこそ室内環境研究かと思えます。そのためには、日常生活者としての視点も踏まえた学会活動を進めていければと考えています。研究という側面だけではなく、講演会、シンポジウム、講習会などにおいて、多くの分野の研究者が異なる観点から意見を述べ、議論し、また個別の知識だけでは対応できない日常生活においてどのように学会としてアプローチしていければよいかということを考えることのできる場を何とか作っていければと思っています。

研究も含めた学会運営には会員の皆様のご協力が必要です。ご協力いただけますよう、お願いいたします。

◇◆ご報告◆◇

■2013年度 新体制

<役員(2013~2014)>

会長	中井 里史 (横浜国立大学)
副会長(学術担当)	東 賢一 (近畿大学)
副会長(事業担当)	山口 一 (清水建設)
委員長(学術委員会)	東 賢一 (近畿大学)
委員長(出版委員会)	関根 嘉香 (東海大学)
委員長(標準化委員会)	神野 透人 (国立医薬品食品衛生研究所)
委員長(事業委員会)	山口 一 (清水建設)
委員長(広報委員会)	水越 厚史 (東京都立産業技術研究センター)
委員長(社会連携委員会)	野口 美由貴 (成蹊大学)
委員長(商標管理委員会)	柳澤 幸雄 (開成学園)
支部長(九州支部)	佐藤 博 (長崎国際大学)
支部長(東北支部)	野崎 淳夫 (東北文化学園大学)
支部長(関西支部)	濱田 信夫 (大阪市立自然史博物館)

分科会世話人(化学物質分科会)	関根 嘉香(東海大学)
分科会世話人(微生物分科会)	須山 祐之(東京歯科大学)
分科会世話人(燃焼器具分科会)	野崎 淳夫(東北文化学園大学)
分科会世話人(地域文化財保全分科会)	阿部 恵子(環境生物学研究所)

ワーキンググループ代表(燃焼器具ガイドライン)野崎 淳夫(東北文化学園大学)
ワーキンググループ代表(法人化) 中井 里史 (横浜国立大学)

<事務局(2013~2014)>

事務局長	中島 大介 (国立環境研究所)
会計	松木 秀明 (東海大学)
監事	斎藤 育江 (東京都健康安全研究センター)

<評議員(2013~2016)>

東 実千代 (畿央大学)
雨谷 敬史 (静岡県立大学)
池田 耕一 (日本大学)
榎本 孝紀 (柴田科学)
岡本 誉士夫 (ダイキン工業)
奥村 二郎 (近畿大学)
小座野 貴弘 (五洋建設)
小野 雅司 (国立環境研究所)
川上 裕司 (エフシージー総合研究所)
川崎 たまみ (鉄道総合技術研究所)
櫻田 尚樹 (国立保健医療科学院)

熊谷 一清 (California Department of Public Health)
小林 智 (北海道立衛生研究所)
篠原 直秀 (産業技術総合研究所)
清水 一男 (静岡大学)
須山 祐之 (東京歯科大学)
瀬戸 口 泰弘 (フィガロ技研)
田中 昭代 (九州大学)
中山 正樹 (新コスモス電機)
新田 裕史 (国立環境研究所)
平野 耕一郎 (横浜市環境科学研究所)
牧野 国義 (環境影響研究所)
松村 年郎 (日本大学)
森田 洋 (北九州市立大学)
山村 信男 (予防環境協会)
吉田 俊明 (大阪府立公衆衛生研究所)
渡邊 文雄 (ガステック)

■平成24年度表彰

<論文賞>

論文題名: フォトフェントン反応を用いた気液接触型の新規空気清浄法の開発

受賞者: 徳村雅弘、和田友布子、宇佐美友理、八巻高子、水越厚史、野口美由貴、柳沢幸雄
室内環境 第15巻1号 p.27-38 (2012)

<学術大会大会長奨励賞>

○大会長奨励賞(口頭発表部門)

B-10 α -ピネンのオゾン分解による二次生成物質および微小粒子の生成
--酸化窒素共存の影響--

演者: 野口美由貴、大澤春香、小松志織、山崎章弘(成蹊大学)

B-03 臭気閾値比を使用した新しい室内空気質の評価方法の提案

演者: 中岡宏子(千葉大学)、瀬戸 博(東京顕微鏡院)、戸高恵美子、花里真道、森 千里(千葉大学)

○大会長奨励賞(ポスター発表部門)

P-12 住宅内におけるチャタテムシ・ダニ・カビなどアレルギー原因生物の分布調査

演者: 川上裕司、橋本一浩(エフシージー総合研究所)、福富友馬、谷口正実(国立病院機構相模原病院)、

中島麻諭子、福田安住(エフシージー総合研究所)、秋山一男(国立病院機構相模原病院)

P-31 揮発性有機化合物(VOCs)の海洋性発光バクテリアVibrio fischeriに対するシナジー効果およびホルミシス効果

演者: 関根嗣晃、関根嘉香、池田四郎(東海大学)

ポスター発表部門については平成24年度室内環境学会学術大会の懇親会において表彰状を授与した。
口頭発表部門については、平成25年度室内環境学会学術大会で行う予定である。

<査読者賞>

小林 智(北海道立衛生研究所)

雨谷敬史(静岡県立大学環境科学研究所)

■役員会の報告

平成24年度室内環境学会第3回役員会(2012年9月21日)の議事報告

【要旨】http://www.siej.org/pdf/meet2012_3.pdf

平成24年度室内環境学会第4回役員会(2012年11月6日)の議事報告

【要旨】http://www.siej.org/pdf/meet2012_4.pdf

平成24年度室内環境学会第5回役員会(2012年12月14日)の議事報告

【要旨】http://www.siej.org/pdf/meet2012_5.pdf

平成25年度室内環境学会第1回役員会(2013年1月29日)の議事報告

【要旨】http://www.siej.org/pdf/meet2013_1.pdf

◇◆ご案内◆◇

■平成25年度 室内環境学会学術大会

- ◆大会長:佐藤 博 (長崎国際大学)
- ◆開催日:2013年12月5(木)、6日(金) (予定)
- ◆場所:アルカスSASEBO(長崎県佐世保市三浦町) (予定)

■2013年度室内環境学会調査研究助成金公募について

1. 目的

室内環境に関わる調査研究等に対する助成により、室内環境学会員の調査研究活動を活性化し、室内環境に関わる学術および技術の発展に寄与することを目的とする。

2. 助成の概要

- (1)募集課題 室内環境に関わる学術および技術の発展に寄与するもの (最長2年間までは継続申請可能)
- (2)応募資格 申請代表者は室内環境学会の会員
- (3)募集期間 2013年2月公募開始～2013年3月31日
- (3)助成期間 2013年4月1日～2014年3月31日(1年間)
- (4)助成金 総額10万円
- (5)助成件数 1件程度

3. 選考方法

- (1)選考委員 会長、副会長、学術委員長、事務局長
- (2)選考基準 下記に基づく
 - ①室内環境に関わる学術および技術の発展への貢献
 - ②独自性・発展性
 - ③社会的意義
 - ④その他(各年度で設定、例えば「自然災害との関連」など)
- (3)結果通知 5月中に申請代表者に通知

4. 成果等の報告

本助成を受けた会員は、その用途及びそれによる成果の概要について、助成期間終了後2ヶ月以内に調査研究報告書(様式自由)を学会事務局に提出する。さらに調査研究終了後、室内環境学会学術大会においてその成果を発表する。

5. 応募方法

室内環境学会ホームページより、もしくは室内環境学会事務局に申し出て申請書を入手する。申請書に必要事項を記入し、募集期間内に室内環境学会事務局に提出する。

【公募概要および申請書】

「調査研究助成金公募の概要」→ http://www.siej.org/pdf/tyousajosei_gaiyo1303.pdf

「調査研究助成申請書」→ http://www.siej.org/pdf/tyousajosei_sinsei1303.pdf

6. 提出先・問合せ

室内環境学会事務局
130-0026 東京都墨田区両国4-38-3第8高島ビル6F (株)アイデック内
TEL03-5600-4871 e-mail: info@siej.org

■日韓台室内環境学会MOUに基づく英文誌刊行準備TFメンバー募集

日韓台の室内環境学会では学術交流等を目的としてMOUを取り交わしており、その中で、英文誌の共同刊行が挙げられています。しかし、発刊に至るまでには資金・査読方法など整備しなくてはならない多くの課題があります。そのため各国でTFを定めて、5年程度を目処に発刊にむけた議論をしていこうとの合意がなされました。日本では、先日の役員会において、これまでも本件に携わってきた中井がTFのリーダーを務めることが決まりました。

この決定を受けて、お手伝いをしてくれる会員の方を数名程度募集いたします。できれば、若手の方に参画いただければと思っております。関心のある方は、3月末までに事務局までご連絡ください。三カ国での予備打合せの中で、メールというより、できるだけ顔をつきあわせて議論していきたいという意見があり、各国で開催される学術大会時に相互に訪問して議論を進めていこうとされています。TFメンバーには、積極的に他国の学会に参加いただくことが期待されます。しかし、室内環境学会から旅費等を補助することはできません。また、先方学会から招待されるわけでもありません。このような状況ではありますが、他国の学会との交流に興味がありましたら、是非とも手を挙げてくださるようお願いいたします。

日韓台共同英文誌TF 日本側代表 中井 里史

■室内環境に関するQ&Aについて

学会HP「情報発信」の中に「室内環境に関するQ&A」を公開しています。
一般の方や関連企業の方などが室内環境に関して抱いているさまざまな疑問に答えることを目的として室内環境Q&Aを作成しましたので、ご活用ください。

<http://www.siej.org/QA/inf6.cgi>

■【後援】講習会「浮遊微生物サンプリング法規準」微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理基準(改定)

- ◆日時:3月12日(火)13:30~17:30
- ◆場所:建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
- ◆主催:日本建築学会
- ◆参加費:(1)日本建築学会会員 8,000円 (2)後援団体会員参加費 10,000円 (3)会員外(1,2以外) 13,000円
- ◆詳細はこちら→ http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2012/20130312_ka.pdf

■【後援】平成25年度 日本環境変異学会公開シンポジウム「東アジア地域の環境汚染の現状とヒト健康への影響」

- ◆日時:5月25日(土) 10:00~17:30
- ◆場所:慶應義塾大学 芝共立キャンパス (東京都港区芝公園)
- ◆主催:日本環境変異学会
- ◆詳細:<http://www.j-ems.org/symposium/2013symposium.html>
- ◆参加費:無料 ※事前申し込み不要
- ◆プログラム:http://www.siej.org/event_pdf/23.pdf

■【協賛】「第30回エアロゾル科学・技術研究討論会」

- ◆日時:8月27日(火)~29日(木)
- ◆場所:京都大学百周年時計台記念館(京都市左京区吉田本町)
- ◆主催:日本エアロゾル学会
- ◆詳細:<http://www.jaast.jp/home-j.shtml>
- ◆問い合わせ先:
第30回エアロゾル科学・技術研究討論会実行委員会 東野 達
E-mail:jaast30@gmail.com (@を半角にしてご使用下さい)
Tel: 075-753-5615 Fax: 075-753-5617
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院エネルギー科学研究科

◇◆情報◆◇

■第10回(平成25年度)日本学術振興会賞推薦について

<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/gaiyo.html>
本賞に対する学会長の推薦を希望される場合は、
要領(<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>)をご確認の上、
2013年3月20日(水)までに下記宛ご連絡ください。
別途必要提出書類一式をお届けします。

室内環境学会事務局
130-0026 東京都墨田区両国4-38-3第8高島ビル6F(株)アイデック内
TEL03-5600-4871 e-mail: info@siej.org

■「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」募集

- ◆対象:日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- ◆応募書類:所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
- ◆公募期間:2013年4月1日より6月30日(消印有効)
- ◆賞および副賞:副賞として100万円
- ◆重点課題:将来の予防医療のテーマに先見的に着手したもの
詳細はこちらをご覧ください。http://www.kenko-kenbi.or.jp/uploads/press-release_kenko3.pdf

■シンポジウム「先端計測2013」の開催について(ご案内)

- ◆日時:平成25年3月12日(火)10:00~17:00
- ◆会場:日本学術会議 講堂 (東京都港区六本木7-22-34)
- ◆事前申し込みは不要です。
- ◆連絡先
慶應義塾大学理工学部
本多 敏
電話:045-566-1609 E-Mail:honda@appi.keio.ac.jp

■合意形成学国際プログラム(IPCOB)セミナーのご案内

Tackling Climate Change: A System of Systems Engineering Perspective
(気候変動への挑戦: System of Systems Engineeringの視点から)

※使用言語: 英語

- ◆日時: 2013年3月15日(金) 14:00~15:30 (受付13:30~)
- ◆会場: 東工大蔵前会館 TOKYO TECH FRONT ロイヤルブルーホール
(東急目黒線・大井町線「大岡山」駅 徒歩1分)
- ◆主催: 合意形成学国際プログラム(IPCOB)
- ◆参加費: 無料
- ◆お申込み: 参加希望の方は、Eメールの本文にお名前、ご所属(肩書き)、メールアドレスをお書きの上、profhipel.at.tokyotech@gmail.com 宛てにお送りください。
定員を超えた場合には、先着順とさせていただきますのでご了承ください。
- ◆お問合せ先: profhipel.at.tokyotech@gmail.com
担当: 合意形成学国際プログラム事務局 猪原(いのはら)、勢川(せがわ)

ウェブサイト: <http://www.ipcob.org/seminar-keith-2013-03-15-j.html>

日本語版ポスターpdf:

<http://www.ipcob.org/Web-Docs-2013-03-15/keith-poster-2013-03-15-j.pdf>

■第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン

「学術大型研究計画」の公募開始のお知らせ

- ◆公募期間は、平成25年2月15日(金)~3月31日(日)まで
公募について <http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/ogata/22-koubo.html>

区分I への応募 <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0039.html>

区分IIへの応募 <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0040.html>

<お問い合わせ先>

日本学術会議審議第二担当 <mailto:g.sanjikanshingi@cao.go.jp>

この「ニュースレター」は室内環境学会の会員に配信しております。

■入会申込み・配信停止・送信先の変更⇒<http://www.siej.org/postmail.html>

■学会ホームページ⇒ <http://www.siej.org>

【発行元】室内環境学会 〒130-0026 東京都墨田区両国4-38-3 第8高島ビル6F

(株)アイデック内 室内環境学会 事務局

TEL 03-5600-4871, FAX03-5625-4299

e-mail info@siej.org

※本メールの転送は堅く禁じます Copyright(c) 2008 Society of Indoor Environment, Japan
